

〔問1〕

次の(1)から(15)の問いに答えよ。

著作権保護のため、非公表（択一式 15問）
次ページ以降に例題を掲載しています。

〔問 2〕

次の（１）、（２）の文章のうち、1つを選んで問いに答えよ。

（ 1 ）

我が国では人口減少・高齢化が加速し、建設業においても担い手不足が深刻な問題となっている。また、全国の自治体においても、技術職員が減少傾向にあり、人材確保と抜本的な業務改善が急務となっている。これらを解決するには、デジタル技術を積極的に取り入れ、建設現場や自治体における DX（デジタルトランスフォーメーション）を進める必要がある。

大阪府においても、今後、インフラ施設の整備や維持管理を進めるにあたり、ICT の活用による現場施工、維持管理業務などにおけるデジタル化・オンライン化に取り組んでいるところである。

そこで、大阪府技術職員として、道路、河川、公園、下水道、港湾などのインフラ施設の整備・維持管理における DX の取組みを、現状や課題を踏まえ、具体的に 400 字以上で提案せよ。

（ 2 ）

人口減少や高齢社会の進展、ライフスタイルの多様化など、都市を取り巻く社会情勢が大きく変化する中、大阪府においては、インフラ施設の整備や維持管理を通じて、大阪・関西のさらなる成長を支え、自然災害などから府民の暮らしを守る安全・安心なまちづくりが求められている。

とりわけ、高度経済成長期に整備され、建設後 50 年以上経過するインフラ施設を多数保有・管理しており、これらの老朽化への対応について、通常の維持管理と合わせ、施設の長寿命化や抜本的な更新を行う、戦略的維持管理が急務となっている。

そこで、大阪府技術職員として、道路、河川、公園、下水道、港湾などのインフラ施設の戦略的維持管理の取組みについて、現状や課題を踏まえ、具体的に 400 字以上で提案せよ。

以下の問題は例題です。（大阪府職員採用試験で実際に出題された問題とは限りません。）

例題1 造園樹木の植栽に使用する支柱に関する次の記述A～Dのうちには妥当なものが二つある。それらを選んでいるのはどれか。

- A. 布掛け支柱は、寄植えや植込みに使用されており、取り付けに際しては、樹木を相互に連ねて丸太や竹を水平に渡して結束する。
- B. 添え木は、高木類を支えるのに適しており、取り付けに際しては、樹木の幹に添えて丸太などを地中に十分挿し込んで立て3箇所ほど幹に結束する。
- C. 鳥居型支柱は、街路樹に多く使用されており、取り付けに際しては、丸太の元口を下にし、丸太と丸太の接点をくぎ打ちで鉄線掛けとする。
- D. 八つ掛け支柱は、低木類を支えるのに適しており、取り付けに際しては、3本の丸太を、樹木の高さの半分地点に、高さを揃えて幹に結束する。

- 1. A, B
- 2. A, C
- 3. B, C
- 4. B, D
- 5. C, D

【正答：2】

以下の問題は例題です。（大阪府職員採用試験で実際に出題された問題とは限りません。）

例題2 都市公園内に「都市公園法に基づく公園施設」としては設置できないものは次のうちではどれか。

1. 耐震性貯水槽
2. 井戸
3. メリーゴーラウンド
4. 保育所
5. 動植物の保護繁殖施設

【正答：4】